

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする生徒に対しての組織的な支援。 ・確かな学力を育てるためのわかりやすい授業の展開。 ・徹底した基礎的・基本的な学力の向上を図る指導の工夫 ・ICT機器の活用促進(クロムブック、プロジェクターなど) ・学習習慣・読書習慣の工夫と徹底 ・地域と連携した放課後学習教室(ただお塾)の推進

授業改善の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもたせる導入の実践と工夫について。 ・価値ある対話の共有を実践する場と授業展開の工夫。 ・振り返りの設定と実践方法について。 ・主体的・対話的で深い学びの実践 ・ICT機器の効果的な活用について。

	国語科	美術科	総合的な学習の時間の指導の重点	特別の教科 道徳の指導の重点
各教科の指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材や資格資料を活用し、視覚的にわかりやすい導入を行う。 ・対話的な活動を取り入れ、考えを深める機会を設定する。 ・発表活動などを通して、表現力を高める活動を取り入れる。 ・語彙力を養うため、定期的に漢字テストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力をつけるために、導入ではワークシートを用いてアイデアを整理する時間を確保する。 ・表現力を付けるために、1学年のうちに基礎的な技術指導(レタリング・スパッタリング・トレース・遠近法など)を行う。 ・2・3学年では判断力を付けるために、習得した技術から自ら選択し、活用して表現を行う作品制作を行う。 ・単元ごとに発表(鑑賞)の時間を設け、考えたことを他者に伝える体験を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動を重視し、その中で問題解決的な学習が経験できるように意図する。 ○パソコンを道具として使いこなし、情報収集をできるようにする。 ○様々な人との直接的なかわりを大切にする。 ○関係施設や民間企業、保護者など、地域の教育力を最大限活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育成し、人権尊重の精神を尊重する態度を育成する。 ・学校のきまりや、生徒の身近な問題を通し、規範意識を養い、道徳的心情判断力を育てる。
	社会科	保健体育科		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材や資格資料を活用し、視覚的にわかりやすい導入を行う。 ・学習形態を工夫し、対話的な活動を取り入れる。 ・発表活動などを通して、表現力を高める活動を取り入れる。 ・資料を厳選し、資料を読み取る力や活用する力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、正しい運動の仕方や自分の動きを確認し、技能の習得につなげる。 ・学習カードに授業の流れを明記することで、授業のめあてと共に取り組みの見通しをもたせる。 ・単元小テストを取り入れ、技能向上に必要な「知識」を深めさせ、グループワーク等の対話に生かす。 		
	数学科	技術・家庭科		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材や視覚資料を活用し、視覚的にわかりやすい導入を行う。 ・統計や確率などの単元では、クロムブックのスプレッドシートを活用し、実験の集計を円滑に行う。 ・習熟度別少人数授業(2, 3年)を行い、生徒の発達の段階に合わせて指導を行う。 ・基礎、基本の計算力を身につけるために、問題演習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できあがった作品を見せることで、スムーズに作らせる。 ・自分で考えさせるやり方も試す。 ・ICT機器等で実際の作業を見せる。 ・早くできあがった生徒とペアを組ませることで効率よく授業を進める。” 		
	理科	外国語科		
<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機材や映像資料の積極的活用 ○問題の反復練習、再テストの実施の基礎・基本の定着 ○実験、観察の充実と、科学的思考力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材を使用し、視覚的にわかりやすい導入を行う。 ・クロムブックを使用した問題演習を行う。 ・少人数制授業を活かし、個に応じたきめ細やかな指導を行う。 ・ペア・グループワーク等で学び合い活動を活性化させ、対話的な学びをはかる。 ・発表とやりとりの機会を可能な限り設ける。 ・得点力をつけさせる問題演習を行う。 			
音楽科				
<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習を繰り返し行い、良い発声を身に付けさせるとともに、歌う楽しさを感じさせる。 ・人前で発表することを通して、自分の思いを表現する音楽的な能力を身に付けさせる。 ・パート練習等を通してリーダーを育成する。 ・映像資料を積極的に活用する。 				
特別活動の指導の重点				
<ul style="list-style-type: none"> 愛情と信頼を軸として、心の交流のある望ましい集団生活の育成に努める。 				

本校の授業改善に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・クロムブックを活用した実践を通して、町田市スタンダードの取り組みに活かす。 ・jamboardによる思考ツールの活用 ・グーグルフォームによる振り返りの設定 ・スプレッドシートの活用 	<p>授業で「できるようになったこと」「学んだこと」「今後の課題」について、自分の言葉で書くことにより、知識・技能の定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを活用した教室環境の整備・話し合い活動を通して、よりよい結論を導く。 ・教え合い、学び合うことによる主体的に課題に取り組む。 ・お互いの意見を尊重しあい、認め合う集団をつくることで、自己肯定感を高める。

各校の授業改善に向けて3点、設定する。
なお主な視点として授業をデザインする8つの取組をもとに、個別最適・協働的な学びの視点を踏まえた、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を行う。